

テーマ：地域の人の暮らしを実感する実習 ～ 地域の人の「暮らしを支える」とは何か ～

1) カテゴリ：③教育方法

2) 学校概要：富山県高岡看護専門学校 富山県高岡市下関町 4 番 56 号

課程名：3 年課程 | 学年定員数：120 名 修業年限：3 年

3) 科目：地域・在宅看護論実習Ⅰ（地域と地域に暮らす人の理解）| 単位 45 時間 | 年生（5 月下旬）

実習	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月
地域・在宅看護論実習Ⅰ		地域				
基礎看護学実習Ⅰ	入学				病院	



看護師は暮らしと健康を支えます。

4) 方法：自校のある高岡市を中学校区で 10 地域に分け、それぞれ 2 グループ（1 G：5～6 名）の学生が担当し、「地域フィールドワーク」とその地域を支える人へのインタビュー、デイサービス実習を行い、**地域の特徴と地域の暮らし、地域で暮らす人を支える仕組み**を学ぶ。

1 事前準備

- ・講義で各地域の「自然環境」と「生活環境」の特徴を調べ、地図にまとめる。
 - ・グループごとにインタビューや施設実習場面を想定したロールプレイを実施。
 - ・学校からバス又は電車を利用した行程表を作成し、**地域に住む人の移動手段**を知る。
- 担当地域の支援センター職員から ZOOM 会議により、**各地域の高齢者の特徴と住民の困りごと、支援センターの役割・機能**を学ぶ。

2 地域包括支援センター

3 地域フィールドワーク

商店街や住宅地、病院や学校周辺を巡り、**地域の人の暮らしを実感する。地域住民や民生委員・児童育成クラブ、交番でインタビューし、地域の暮らしを知る。**



住民の危険

・用水路の幅が広い。柵がないと子供が落ちるのではないかな。

バス路線のない地域もある。路線があっても 1 日 3 本だけでは大変だ。



地域交番

「〇〇君お帰り～」仕事や介護で忙しい家庭の児童を放課後預かっている。古い商店街には子供を見守る「こども 110 番」もある。



住民の移動手段

スーパーが遠いため免許を返納すると買い物や通院が大変。障害者タクシーの半額利用券がある。



民生委員



児童育成クラブ



移動販売

4 デイサービス実習

地域の人の暮らしと健康を支える社会資源（施設・多職種の役割）を知り、デイサービスに通う人の思いや暮らしぶりを知る。

5 地域マップの作成

各地域の特徴を **移動のしやすさ** **生活維持のしやすさ** **安全・安心** **つながり・支援** の視点でまとめ、地域の「暮らしやすさ」「暮らしにくさ」について考える。民生委員の方にも参加していただき、学びの成果を発表し、「**地域の人の暮らしを支える看護**」について考えを深める。

6 発表会

- ・直接現地に行かないと分からないことが沢山あり、地域の人の話を聞くことでその地域の現状をリアルに知ることができた。
- ・交通手段の不便さがあっても制度や地域住民の支え合いにより安心して暮らせることが分かった。地域の特徴を知り、一人一人に合った支援を考えたい。

学生の声



民生委員の声

高岡市内でも地域差があることを学ばれた。住み慣れた地域に暮らし続けるためには、合理性だけでなく住民一人一人の幸福感が大切です。

